

会 議 議 事 録

審議会等の名称	令和3年度 第2回磐田市健康づくり推進協議会
担当部課名	健康福祉部 健康増進課
会議の開催日時	令和4年3月22日(火) 午後1時30分～3時00分
会議の開催場所	磐田市総合健康福祉会館2階 生活訓練室
出席者(職・氏名)	委員：別紙10名中9名出席 事務局：8名 部長、健康増進課員7名
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 部長挨拶 3. 会長挨拶 4. 議事・協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 健幸いわた21 <ol style="list-style-type: none"> ①令和3年度の保健事業の取り組みと令和4年度の計画 ②本計画改定の予定について ③新型コロナウイルス感染症対策について (2) 意見交換 5. 閉 会
配付資料等の件名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 第2回磐田市健康づくり推進協議会次第 ・令和3年度の取り組みと令和4年度の計画 ・参考資料1～4
1. 開会	健康増進課長
2. 部長あいさつ	<p>コロナ禍での御協力を、ありがとうございます。</p> <p>磐田市民の皆さんの心と体が健やかで、生涯健康で暮らせるように、是非御意見・アドバイスをいただけたら大変ありがたく思っております。</p> <p>また本日は、委員の皆様にはそれぞれのお立場から、是非、忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
3. 会長あいさつ	<p>コロナが流行して3年目になり、日本の死亡者と感染者は増え続けています。しかし日本が世界と比較して少ないのは、ワクチンの効果と、感染予防体制が取れる国民性という事になると思っております。</p> <p>コロナ禍における健康推進について意見を出し合っていきたいと思っております。</p> <p>この協議会で話し合っている健康づくりというのは、健診等様々な活動をして生活習慣病対策をするというものです。これは感染症と違って継続的な事業が必要です。コロナの状況が変化しても、新しいやり方の保健活動を工夫していくということが重要かなと思っております。</p>
4. 議事・協議	<p>(1) 健幸いわた21 ①令和3年度の取り組みと令和4年度の計画報告 ②計画改定の予定について ③新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>事務局より説明</p>

委員	(2)意見交換 まちの保健室では、健幸クイズでインターネットや SNS の活用とのことですが、どのように考えていますか。閲覧数はどのくらいですか。
事務局	閲覧数は、多くありません。 料理動画を更新した際には閲覧数が増えていると思います。 インスタグラム等も利用して PR が必要と考えます。
委員	高齢者には SNS は難しい方が多いと思われるので、年齢層に応じた対応が必要になると思います。
事務局	交流センター・図書館を利用する方、インターネットを利用するかたそれぞれ違う年齢層の方が見ている。図書館では小学生や普段交流センターでのまちの保健室に来ない高齢の男性もみえたと聞いています。
委員	フレイル予防として「いきいき百歳体操」「かみかみ百歳体操」が広まっています。また、赤ちゃん相談では知り合いの輪が広がり、地域の繋がりを支援できていると感じています。 健康経営・優良企業については、どのような取組みを考えていますか。
事務局	健康経営の内容は、保健師・栄養士で企業へ出向き、社員の健康診断結果をもとに企業ごとの健康課題を抽出し、テーマを決めて啓発しています。インボディ測定会を開催し、自身の目標に向けての健康チェックに活用していただきました。現在は 2 社への介入でしたが、今後は 1 社ずつ増やしていきたいと考えています。
委員	高齢化時代において歯の健康はとても重要だと思う。現在、歯科健診の定期検診率は、どの位ですか。
委員	定期的に受診している方は 20～30% と思います。
委員	パルスオキシメーターの貸出をしているとのことですが、現在の貸出数と回収率はどうですか。
事務局	磐田市立総合病院に 50 個、開業医に 18 個貸し出し、病院から個人へ貸し出して、回収も病院にお願いしています。コロナが収束するまでは、引き続き病院への貸出は継続します。
委員	ロゴマークの作成は、いい案だと思う。高校生によるロゴを早く作ると良い。
事務局	このスローガンで 2 年間取り組んできたが、ロゴマークの活用の幅がかなり多いことに気付いた。ぜひ、地元の高校生にいいものを作成していただき、今後の啓発活動に活用していきたいと思っています。

委員	「いただきます お箸を持ったら 野菜から」のあいさつ実施についてモデル校というのは小学校一校のみか？学校ごとに取り組むよりも、栄養教諭が担当する学府ごとで進めた方がやりやすいのではないのでしょうか？
事務局	ある地区で自発的に給食時のあいさつに取り組んでくれていると聞いています。モデル事業として開始する際は、栄養教諭の担当する学府ごとで考えていきたいと思っています。
委員	国保の特定健診は無料ではない。企業では無料であり格差がないか？
事務局	健診の内容はパンフレットにあるとおりで、医療機関では1万円以上かかる健診を現在1,700円の自己負担で実施しています。今後市民が受診しやすい体制づくりとして料金のことも検討していきたいと思っています。
○委員より一言 委員	積み重ねてきたデータの経年変化を確認し活用していくことが重要と思います。そしてPDCAサイクルをまわすことが大事。対象を絞って集中的に取り組むべき。内容はフレイル対策と健診受診率アップ、SNSやネット以外も活用、対象者に応じた啓発活動を期待したいと思います。
委員	糖尿病の重症化予防について各先生方は充分やっていると思います。糖尿病性腎臓病は磐田市では、やや増加傾向だが、全国ではピークアウトしている。これからは腎硬化症に起因する透析者が増加していくと思います。高血圧対策・心不全対策が重要になると考えます。島根では小学生の減塩対策に取り組んでいる事例もあり、参考にしていくのもひとつかと思います。
委員	40代50代の重症になる前からの歯周病予防が大切です。市の歯科健診は、予防対策のキッカケになるので、良い取り組みだと思います。今後は受診率が低い20代から40代若い年代への取り組みが必要ではないのでしょうか。
委員	フレイル対策は重要だと思います。体操と合わせてタンパク質の摂取が大切です。また、コロナ対策では、予防法として免疫力アップについて、もっと着目していくと良いと考えます。
委員	自治体の協力には感謝しています。今後はコロナの感染症分類も変化すると思われるかもしれませんが、引き続きWEBの活用を強化していく時代です。国民生活基礎調査も都市部ではWEB回答も実施します。時代に合わせて活用していきたい。
委員	みにやごちゃんは、継続して取り組んでいます。合わせて引続き規則正しい生活を送れるよう働きかけていこうと思います。コロナでの休校明けにはメディアとの付き合い方に問題を感じました。ノーゲームデイを設けるなど学校側の指導だけでなく、家庭との連携も必要と考えます。

委員	前段の意見交換で話しをさせてもらいました。これからも自分自身の健康管理も考えていきたい。
委員	<p>食生活推進協議会・いわた食育キッチン・ミントの会の活動をしてきました。これからも子育て世代に伝えていくことは大切にしていくべきことと考えます。</p> <p>サロン等に参加したくても、高齢者には足がないことが課題です。またコロナ禍で活動が無くなるが増えています。これまでの活動の中様々な健康の意識を高めていけたので、コロナ禍でも健康講座など学べる機会が欲しいと思っています。</p>
委員	<p>3点伝えたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健診を多くの人に受けてもらう 2. 食育の大切さ 若い時からの取組み強化 3. 高齢者が閉じこもらない対策（社会活動に参加し、いかに健康を維持するか）
事務局	ありがとうございます。健康増進課として、いただいたご意見を踏まえて検討していきたいと思っております。どうもありがとうございました。
5. 閉 会	<p>以上をもちまして、令和3年度第2回磐田市健康づくり推進協議会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>